

- 当該地は平城京京七条一坊十五坪の西辺中部にあたる。西一坊大路及び同東側溝を確認し、坪の内部では奈良時代の掘立柱建物



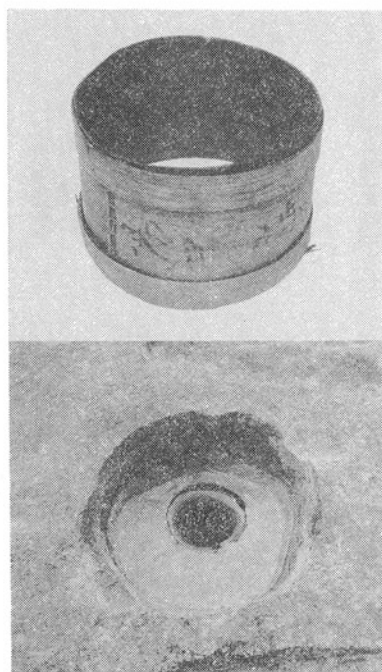
六棟と井戸一基に加えて、一一世紀後半から一二世紀初頭にかけての井戸三基を検出した。このうち後者の井戸の一基に墨書曲物が使われていた。井戸の構造は、円形掘形（径一・二m、深さ〇・九五m）の底部に墨書曲物を据え、この上部に

- (1) 「湯屋□延久参年四月十日」

9
関係文献

奈良市教育委員会「平城京右京七条一坊十五坪の調査」(『奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和六〇年度』一九八六年)

(中井公)



墨書曲物(上)と井戸全景(下)